



世界へのプレゼントになろう

RI 会長テーマ

2015~2016 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人

会 長 松岡 克之

副会長 水野 賢一

幹 事 新沼 敏宏



会長テーマ

誇りをもって 行動を

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

12月第4週例会 2015年12月24日(木)

ソング : 奉仕の理想                      ボックス : 30,000円 (報告者 山口ひとみ会員)

本日出席率 : 51.85% 前回修正後100% (メンバー24名)                      (報告者 前原 汪子会員)

### ★ 会長の時間 松岡克之会長



皆様今日は。

今日はクリスマスイブ。子供がまだ小さい頃、プレゼントを選ぶ楽しみや、受け取った子供の笑顔を見るのも喜びでした。

先週の12日土曜日に東京校インターアクトクラブの街頭募金活動に参加してきました。ショッピングセンター「サンリア」様のご協力を頂きインターアクトの会員15名程と先生2名が2箇所の入口に分かれ元気に募金を呼びかけていました。RC会員も8名程協力していました。

又、マイインター店様からもご協力して頂き、2箇所でインターの会員10名程が寒さの中、買い物に来た人達に歳末助け合い募金の声がけをしていました。RCの会員は8名程で一緒に協力して頂きました。

募金活動は協力を頂いた金額も大事ですが、インターの生徒達の一生懸命な姿を通して他人の役に立つことの大切さや思いやりを勉強したのではないかと思います。

そして、自分達も街頭募金をしている方々に会ったときは相手への思いやりを持って接してくれればと感じました。

午後からはインターアクト主催で太陽学園の子供さん達と一緒にクリスマスパーティが三鉄の車内で催されました。恋し浜駅では願い事が書かれたホタテ貝を見たり書いたりし、車内ではゲームなどをして楽しく賑やかな時間を過ごしてきました。RC会員の参加の方々、募金活動そして太陽学園の子供達との三鉄でのクリスマスパーティとありがとうございました。

又、青少年奉仕委員長の古内さん、インターアクト委員会の皆さんお疲れ様でした。

では会長の時間を終わります。

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 大船渡市より 地域創生シンポジウム開催の案内が届いています。

日時 28年1月11日(月)午後1時~午後4時

場所 市民文化会館大ホール

2 ガバナー事務所より ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所休業のお知らせが届いています。

休業期間 12月26日~1月5日

当クラブ事務局は 12月26日~1月3日までお休みさせていただきます。

## ◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

### ★ 紀室綾子新青少年奉仕委員

古内委員長がお休みなので代わりにご報告いたします。

12月19日の歳末助け合い募金・クリスマス会にご協力いただきありがとうございました。

募金には小さいお子さんからお年寄りまで多くの方にご協力いただきました。マイヤインター店で活動された皆様寒い中ご苦労さんでした。

三陸鉄道車内で行なわれた、大洋学園の子ども達を招待してのクリスマス会は、IACの生徒さん達の司会が素晴らしく上手で、大変盛り上がりおりました。しばらくぶりで小さい子供と過ごし、母性本能を掻き立てられました。

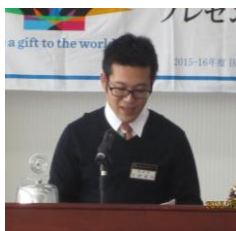


募金は社会福祉協議会へ

### ★ 熊谷雅也会員

松田会員の代理です。先日の金澤翔子席上揮毫及び金澤泰子後援会には300人の方々にお出で頂きました。天気にも恵まれ、良い行事になったと思います。ご寄附いただいた皆様にお礼申し上げます。

## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆



皆さんこんにちは。

卓話という事で何をお話していいのかわからず昨日まで大変でしたが、初めての卓話という事ですので、改めまして私の自己紹介と仕事の内容・趣味などを時間までお話させて頂こうと思います。

#### ・自己紹介

名前は大西竜介といいます。

誕生日は1976年（昭和51年）3月12日生まれです。来年の3月で40歳になります。

今年の誕生日にはちょうど当クラブの入会式と重なり「これも何かの縁だったのではないかなあ？」と今になって思っております。

ちなみに同じ誕生日の有名人の中には、幕末に活躍されました政治家の勝海舟さん・落語家の林家こん平さん・大船渡の夏祭りにも参加されておりました、ミュージシャンのダイヤモンド☆ユカイさん・タレントのユースケ・サンタマリアさんなどが同じ誕生日の方々だそうです。

1976年（昭和51年）にあった出来事をご紹介しますと、モントリオールオリンピックが開催・ロッキード事件・クロネコヤマトの宅急便が始まった年・およげ！たいやきくんがヒット・ほっかほっか亭1号店が埼玉県草加市に創業した年だそうです。ちなみに私の好きなほっかほっか亭のメニューですが、から揚げ弁当です。

出身は大船渡町下船渡です。家族構成ですが、父・母・祖父・弟・妹・妻・長男・長女となっております。父は2014年6月まで当西ロータリークラブの会員で皆様には大変お世話になっておりました。

心臓の病気だったのですが、「心房細動」という病気で、群馬の心臓血管センターという病院でカテーテル手術を行い現在は定期的に病院に通院しながら家で孫子守をしてもらっております。

心房細動という病気ですが、高齢者に多く見られる不整脈だそうで、加齢とともに増加し、70歳代の5%、80歳代の10%程度の割合で起こる比較的起こりやすい不整脈だそうです。

日本国内に約130万人いるとされていて、潜在的には200万人を超すともいわれています。

自覚症状は動悸に気づくことがありますが、発作に気づかずに健康診断等でたまたま見つかることも多くあります。

心房細動は洞結節の正常ペースメーカーからの信号では心房の興奮が始まらず、心房内（主に左房にある肺静

脈付近) で1分間に350~600回の不規則な電気信号が発生し、心房全体が小刻みに震え、心房の正しい収縮と拡張ができなくなる不整脈です。

心房収縮がなくなり、心室の拡張期に十分血液が満たされないため心臓の機能が低下し、心臓から出る血液量も約20%減少します。そのため息切れやめまい、胸苦しさなどの症状を起しやすくなり、これが続くと心不全になる可能性もあります。

最近治療法が格段に向上し、確立されつつある不整脈です。早期発見し早期治療することが大切だそうです。私の父も現在体調の方は無理をしなければ普通通りの生活が出来ますが、仕事の方は静養中でございます。

## ・仕事について

会社名は有限会社パックの大西といいます。

父が当クラブにいた頃からおられる方々はすでにご存じとは思いますが、手短かに再度ご説明させて頂ければと思います。仕事の内容は製函業をしております。

詳しく申しますと、さいとう製菓様へかもめの玉子の箱を組立前の状態から組み立てて納品するまでの仕事です。

特徴としてはジャストインタイム生産方式、いわゆるトヨタ方式を採用し、必要な物を、必要な時に、必要な量だけ納品する、経済効率を高めるための技術体系を採用しております。

現在、私を含め8名で生産から納品までを行っております。

昔はすべて手作業で組み立てて納品していましたが、1992年の三陸・海の博覧会があった頃に手作業ではついに間に合わなくなり製函機を導入し現在は製函機4台で、かもめの玉子の箱を組み立てております。

現在は箱の種類も多くなり入数別やサイズ別にみると10種類以上の箱のサイズになっており常に機械のセット替えを行って無駄の少ない生産を心がけております。

また、今年4月に父から代表を引き継ぎまして現在私が代表を務めさせて頂いております。

仕事についての話は皆さん父からいろいろと聞いておられたと思いますのでこの位にしておきます。

## ・趣味

趣味は釣りや写真撮影にウインタースポーツ・テニスなどです。

釣りは子供のころから親に連れて行ってもらいやっておりました。現在でも年に数回ですがやっております。最近では岸壁から小あじやタナゴ・アイナメなどを狙って釣りをしております。

また今年では岸壁からエギという疑似餌を使いイカ釣りも始めました。エギングと言うらしいです。

イカ釣りは、疑似餌でイカ釣る為、魚釣りのように針にエサを付ける事もないので、エサの匂いが手につかない。しかも針に返しがない為、針を外す際には直にイカに触らずに済むので手も汚れないので最近では女性にも人気があるそうです。エギでイカを釣る女性をエギング女子というらしいです。

写真撮影についてですが子供が生まれたのを機に一眼レフカメラを購入して主に子供を撮影しています。なかなかうまく撮れないのでどなたか詳しい方いましたらコツなどを教えて頂けないでしょうか？

ウインタースポーツはスノーボードとファンスキーをやります。今年は暖冬の影響なのか雪が降らずオープンできないスキー場もあるそうです。天気予報では明日あたりから雪マークがでておりましたので、週末そろそろ各スキー場もフルオープンできるのではないのでしょうか？

結婚して子供ができてからは足が遠くなりましたが、子供が滑れるようになったら一緒に滑りに行きたいと思っております。

私の一番の趣味がテニスになります。中学生から初めまして現在までですのでテニス歴は27年になります。テニスについては中学校では軟式、高校は大船渡工業高校で硬式をはじめまして、結婚して子供が出来てからはこれもまたプレーする機会が減りましたが現在でもたまにやっております。

妻ともテニスがきっかけで知り合い新婚旅行もテニスの4大大会のひとつ全豪オープンテニスを観戦しに2007年1月にオーストラリアのメルボルンへ行き、4大大会の雰囲気と試合の緊張感を楽しんで来ました。

メルボルンという都市は推定人口が408万人で、シドニーに次いで同国2位の人口だそうです。しばしばシドニーとの比較がなされますが、近代的で忙しい大都市のイメージが強いシドニーと比べると、歴史的な建物や文化が残り、のんびりして住みやすいという印象を持たれており、2002年と2004年の二度、エコノミスト誌の「世界で最も暮らしやすい都市」で一位を獲得しているそうです。市内各所には、未だにイギリス風の建造物が多く残っており、アフタヌーン・ティーをたしなむ習慣も残っているそうです。

1月に行ったのですが、南半球の向こうは日本とは逆の真夏でかなり暑かったのを覚えております。

また、自動車レースの最高峰、F1の開幕戦が同じメルボルンであるそうで、レースに向けた準備が進められておりました。

実は私、昔から練習は好きなのですが試合となると緊張してしまい実力を発揮できずによく負けてしまいます。テニスは技術3割メンタル7割と言われる位メンタルが大事なスポーツです。

テニスの先輩方々からは「大西君は、テニスの技術もあって上手いんだけどメンタルが弱いんだよな・・・」とよく言われます。20代の頃は試合に勝とうと週4回とか練習しておりましたが、実は先日の健康診断でメタボリック症候群の予備軍と診断されてしまいましたので、これからは、健康維持の為にテニスにしようと思っております。

昨年2014年のUSオープンの準優勝で大々的に注目されています錦織圭選手の大活躍で昨年辺りからテニスブームだそうです。昨年辺りまではトップを追う立場でしたが、今年は追われる立場となり今年後半は厳しい試合が多かったような気がします。

ここで、私なりに錦織選手のすごい所を私なりに考えてみましたのでご紹介致します。

テニス競技人口はバスケットやサッカーに次いで世界三位と言われており、その数は一億人以上とされています。その中で今年の最終世界ランキング8つでどれだけすごいか・・・なんとなく想像できると思います。今年は一時4位までいったようですが、やはりトップ3の壁は未だ厚い様な感じです。

「錦織選手の凄さ」を一言で言うのであれば、「発想の柔軟さ」だと思います。錦織選手は「何をするのか分からない」というテニスをしばしばします。

セオリーからすれば、この形であればこのようなショットだろう、という予測を相手に与えません。予測できなければ、それだけ対応が遅れますから、錦織選手が有利になるという事です。

また、錦織選手は身体に恵まれているとは言えません。パワーとスピード全盛の現代テニスにおいて、身体の不利を感じさせないテニスで世界ランキング8位というランキングはすごい事だと思います。

実は震災後の2011年7月に綾里にあります三陸B&G海洋センター・三陸総合公園の体育館で被災地訪問という形でしたが元プロテニスプレーヤーの松岡修造さんと錦織圭選手が訪問した事がございました。

松岡修造さんは身長が188cmもありかなり大きな方でしたが、錦織選手は180cmという事もあり、普通の青年にしか見えなかった印象でした。

全英大会のウインブルドンから戻ったばかりのようで疲れた様子でしたが、子供たちと楽しくミニテニスをしておられました。

私たち家族も見に行っていました。錦織選手と松岡修造さんのブログに私の息子当時3歳を錦織選手に指導してもらっているツーショット写真が載って驚いたのを覚えております。

錦織選手のブログにまだあるのではないのでしょうか。

テニスというスポーツはルールについて分かりにくい部分があり、とっつきにくい面もあります。

ここでテニスについてみなさんが「なぜ？」と思われている事をご紹介したいと思います。

私も今回の機会が無ければ知らなかった事でした。

テニスのカウントの呼び方についてですが、0ポイントの事を「ラブ」といいます。なぜ「0」ポイントを「ラブ」と呼ぶのか？これには様々な諸説があり、どれが真実なのか定かではないというのが本当のところ。有力とされている説の1つでは、フランス語で「卵」を意味する「l'oeuf」（ロエフ）から取った言葉なのではないかと言われています。これは、0と卵の形が似ていることが由来しています。

では、「l'oeuf」（ロエフ）がどうして「love」になったのか。

フランスの修道院で生まれ、貴族の間に広まったテニスの前身ジュ・ド・ポーム。これがイギリスに伝わったとき、イギリス人が「l'oeuf」（ロエフ）をうまく発音できなかったのか、それとも聞き間違えたのか…。とにかく「l'oeuf」（ロエフ）を「love」と言ってしまい、それがそのまま定着したという説が有力です。

また、1 ポイントを 15（フィフティーン） 2 ポイントを 30（サーティ） 3 ポイントを 40（フォーティ） 4 ポイントを Game（ゲーム）と独自の呼び方をします。

「テニスの点数を数えるとき、15→30 とくれば次は 45 じゃないの？」そんな疑問を抱いている人、結構いるのではないのでしょうか？私も最初は不思議に思いつつ、長くテニスが続けているうちに、この不思議なカウント方法を自然に受け入れてしまっていました。

テニスの前身とされるスポーツが生まれた中世のヨーロッパでは、60 で位を 1 つ上に上げる「60 進法」が主流であったといわれ、「60」という数字がベースに幾つかの説が伝えられています。

## 1、時計の文字盤説

時計の文字盤を思い浮かべてください。それを 4 分割し、1 周するとゲームが終わると考え、実際に時計の文字盤を使用してカウントを表示したという説。現在、この説が一番有力視されています。

## 2、修道院の生活時間説

テニスの前身と認められているゲーム「ジュ・ド・ポーム」が修道院で考案され、その修道院の生活時間（祈りの時間、掃除、食事など）が「15 分」を基本として組まれていたため、その習慣がカウントを数える際にも応用されていたという説。

上記の説は、「15」という数字の倍数で換算されていますが、なぜ 3 ポイント目だけが 40（フォーティ）となるのかというと、その有力な説として「45（フォーティファイブ）」が長くて言いにくいといわれています。テニスの不思議「カウント編」でしたがいかがでしたでしょうか？

さまざまな説があり、明確な理由はないと言うしかないのですが、中世ヨーロッパの歴史的背景と深く関係していることはわかっていただけだと思います。

テニスに限らずスポーツ、当たり前を受け止めているルールやカウント方法について深く掘り下げてみると、そのスポーツの別の楽しみ方がみつかると思います。

時間になりましたのでこれで私の卓話とさせて頂ければと思います。      ありがとうございました。





今日は レディースデーとクリスマスイブが重なり  
いつもとちょっと違ったメニューでした。  
小さなプレゼントもチョコ



植田幸久会員が転勤のため  
本日をもって退会



こそだてシップ主催の  
ママサロンクリスマス会が  
12月18日  
米崎コミュニティーセンター  
12月25日 サンリアにて開催され  
クラブ・松岡会長・濱守会員から  
お弁当が提供されました。



サンリアのクリスマス会に  
金会員の息子さんご夫婦と  
双子のお孫さんが参加 かわいっ!!